

日本学生支援機構（JASSO ジャッソ）の奨学金予約について

大学等奨学金の種類概要

1. 貸与型奨学金～第一種奨学金 & 第二種奨学金～（貸与:卒業後借りたお金を返還しなければならない奨学金）

型	対象者	種類と学力基準	貸付金額	利 子
貸 与 型	・3年次生徒 ・卒業後2年 以内の人	第一種奨学金 評定平均値 <u>3.5以上</u>	・月額2～6万4千円 * 進学先等による違いあり ・第二種との併用可	な し (無利子)
		第二種奨学金 平均水準以上	・月額2～12万円から 1万円単位で選択	あ り (有利子)
		入学時特別増額貸与奨学金 (振込は1度のみ)	・ 10万円～50万円から 10万円単位で選択 * 給付奨学金のみとの併用、 又は <u>単独で利用することは できません</u>	

* 貸与奨学金と給付奨学金を併せて利用することは可能。ただし、「第一種奨学金」と「給付奨学金」を併せて受ける場合は、「第一種奨学金」の貸与月額は調整されます。

○「第一種奨学金」と「第二種奨学金」の主な条件

1. 2027年度に大学等へ進学する希望を持っている生徒

2. 学力基準…申し込む前に、1,2年生までの成績を担任の先生に確認して申込みに備えてください。

【第一種奨学金】 / 【併用貸与】(第一種奨学金と第二種奨学金を併せて利用)

・1,2年生までの評定平均値が3.5以上

ただし、経済的に極めて修学が困難な人を対象に、学力基準の緩和措置があります。

利用したい人は、係の先生に申し出てください。係の先生と面接をして学修意欲を確認します。

【第二種奨学金】…1,2年生までの評定平均値が平均水準以上

3. 家計基準…生計維持者（「奨学金早わかりガイド」p9）が家計基準以下

4. 貸与奨学金における申し込み時の種類（申込区分）を次の3つから1つ選択します。

- 区分1.「第一種奨学金のみ」審査を希望する

区分2.「第二種奨学金のみ」審査を希望する

区分3.「併用貸与」「第一種奨学金」「第二種奨学金」の審査を希望する

* 区分 1 は、「第一種奨学金」が不採用となったら「第二種奨学金」は審査されません(採用されない)。学力基準が満たしていれば、家計基準が優先されるので、「第二種奨学金」まで奨学金を考えている場合は、区分1よりも区分3を選択するとよいでしょう。

* 1,2年生の成績が3.5未満の人は、区分2にするか区分3にするかを考えて申し込んでください。

* 区分3を選び、「併用貸与」の採用候補者に決定した場合、必ず「併用貸与」を利用する必要はなく、「併用貸与」「第一種奨学金」「第二種奨学金」から1つ選ぶことになります。

○入学時特別増額貸与奨学金について

「入学時特別増額貸与奨学金」は、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を申込み等したものの、利用ができなかった人を対象としています。「国の教育ローン」を利用できた場合、「入学時特別増額貸与奨学金」は利用できませんので、辞退していただくこととなります。（「奨学金早わかりガイド」p9）

2. 給付型奨学金(経済的に著しく厳しい家庭用。「給付」→ お金は返さなくてよい奨学金)

型	対象者	支給月額(第Ⅰ～第Ⅳ区分により異なる)	返還義務
給付型	・3年次生徒 ・卒業後2年以内の人	<国公立大> 自宅生 7,300～29,200円 自宅外生 16,700～66,700円 <私立大> 自宅生 9,600～※「入学時特別増額貸与奨学金」は、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を申込み等したもの、利用ができなかった人を対象としています。「国の教育ローン」を利用できた場合、「入学時特別増額貸与奨学金」は利用できませんので、辞退していただくこととなります。 38,300円 自宅外生 19,000～75,800円	なし
※給付奨学金の受給が決定している学生は国の修学支援制度により、進学時に進学先の学校へ申請すると、同時に、授業料・入学金の減免を受けられます(対象の学校は、給付奨学金の対象校と同じ)。			

○ 給付型の主な条件

- 2027年度に大学等へ進学する希望を持っている生徒
- 学力基準は、(1)1,2年生までの評定平均値が3.5以上。または(2)進学先での学修意欲を有すること。
そのため申し込みの時に3.5未満の生徒に対し、係の先生と面接をして学修意欲を確認します。
- 申込者(生徒)・生計維持者(父母等)について、「学力基準」「収入基準」及び「資産基準」のすべてに該当すること。
以下の区分によって支給額が変わります。

第Ⅰ区分	あなたと生計維持者の市町村民税所得割が非課税であること
第Ⅱ区分	あなたと生計維持者の支給額算定基準額の合計が100円～25,600円未満であること
第Ⅲ区分	あなたと生計維持者の支給額算定基準額の合計が25,600円～51,300円未満であること
第Ⅳ区分	あなたと生計維持者の支給額算定基準額の合計が51,300円～154,500円未満であり、かつ、多子世帯に属する、または多子世帯に属さず私立理工農系学科等へ進学した人 *多子世帯および第Ⅳ区分の支援については、「奨学金早わかりガイド」p6を参照

日本学生支援機構

奨学金を申し込む手順

封筒内書類

*書類を封筒に入れて係と生徒とやりとりをするので、係の先生と手渡しでおこない、書類だけ机の上に置いておくような提出はしないこと(紛失しても責任がもてません)。

- ① 「奨学金早わかりガイド」黄色冊子
- ② 「申込みのてびき」ピンクの冊子
- ③ 奨学金確認書兼地方税同意書
- ④ 提出用封筒(水色)

ここにすべてが書いてあります。
よく読んでください!

= 注意事項 =

・書類の入っている袋は、生徒と係の書類のやり取りで使います。**申込を考えている生徒は**、袋に記名【クラス・No・氏名】をすること。不要な生徒は記名せずに説明会後担任へ袋ごと返却してください。

第1段階

学校へ提出する書類受付期間：**4月28日(火)～5月28日(木)**

(1) 提出物(配布された封筒に入れて提出)

- 【全員】「申込みのてびき」(必要事項記入済み ※鉛筆記入でよい)
【全員】「奨学金確認書兼地方税同意書」

(2) 「申込みのてびき」について ＊別紙、記入上の注意を参照して記入

4～30ページに記入し、スカラネットの入力準備をします。

※高体連札幌支部大会で5月26日～30日の週に大会のある部活（卓球部・男子バドミントン部など）の生徒は、その前の週に点検を終えるようにしてください。

・書類は朝8時00分～8時40分（SHR 前）までに、配布された封筒に入れて、係の先生に手渡しで提出してください。

・不備のある生徒は、担任の先生を通じて連絡するので、放課後等に直接、係の先生まで封筒を受け取りに来て説明を受け、訂正して係の先生に手渡しで再提出してください。
提出した書類については、点検後スカラネット入力時まで係で預かります。

第2段階

スカラネット入力：6月5日（金）～10日（水）中間試験・放課後（学校）

(1) スカラネットへ入力する

中間試験期間（6月5日～6月10日）の放課後に学校（2階 計算実務室）で、点検を受けた「申し込み手引き」の内容をスカラネットに入力を行います。

そのときに、入力に必要な識別番号（IDとパスワード）を連絡します。

また、入力するための「認証コード」を取得するために、自分のメールアドレスが必要となるので、当日、携帯電話（スマートフォン等）とそのメールアドレスを準備して下さい。

携帯電話（スマートフォン等）のない生徒は、事前に係に相談してください。

スカラネットへの入力の仕方については、「申込みのてびき」（ピンク）p31～35をよく読んで行ってください。

(2) スカラネットへ入力し、正常に送信が完了すると「申込完了」画面が表示され、画面上に『受付番号』が表示されます。この番号が出たら、『受付番号』を「申込みのてびき」（3 申込完了後の受付番号）p4に書き込みます。

(3) 申し込み完了後、「マイナンバー提出用画面」にログインしてマイナンバーを入力します。詳しい入力の仕方は「申込みのてびき」（ピンク）p36～38をよく読んで行ってください。

マイナンバーが不明なときは、区役所で住民票を請求してもわかります。ただし、その時にはマイナンバー（個人番号）が入った住民票を作成するように窓口に伝えなければなりません。

準備するマイナンバーは ①あなた ②生計維持者（最大2名 ※通常は父母）の最大3名分です。

(4) スカラネットに入力後、入力内容を2部印刷し、

【全員】申込内容を印刷したもの1部 ※もう1部本人保管

以上を提出して終了

第3段階

「奨学金確認書兼地方税同意書」を送付する：6月12日（金）～17日（水）までに終わらせる

「奨学金確認書兼地方税同意書」を生徒が各自で郵送。（※コピーをして、大切に本人保管）

スカラネット入力後、1週間以内に簡易書留で指定された封筒を使って日本学生支援機構に送付してください。（学校には提出しない）

「奨学金確認書兼地方税同意書」の生計維持者欄は、必ずスカラネットで「生計維持者」として入力した人が記入してください（生徒は不可）

その他 ・日本学生支援機構による候補者の決定（奨学金を借りられるか否か）は9月中旬以降順次公開の予定です。（書類の不備がある人は結果がこれよりも遅くなることがあります）